

iichiko presents

サンクトペテルブルグ・ フィルハーモニー交響楽団

St. Petersburg Philharmonic Orchestra

ロシア音楽の真髄を伝える巨匠と
名門オーケストラによる
“薰り高き響き”

指揮：ユーリー・テミルカーノフ
(芸術監督・首席指揮者)

チャイコフスキー
交響曲第4番 へ短調

ラフマニノフ
交響曲第2番 ホ短調

2011.11.11(金) 開演 19:00 開場 18:15

iichiko 総合文化センター iichiko グランシアタ

GS席12,000円/S席10,000円/A席8,000円/B席6,000円/学生割引 半額 (S~B席のみ・25歳以下の学生対象)

[チケット取扱] iichiko 総合文化センター 1Fインフォメーション 097-533-4006

※iichiko総合文化センターのみ取扱・要学生証

ローソンチケット (Lコード: 89896) 0570-084-008、トキハ会館3Fプレイガイド 097-538-3111

チケットぴあ/セブン・イレブン各店 (Pコード: 145-481) 0570-02-9999、中央町プレイガイドビートパワー 097-538-1386

2011年8月6日(土) 10:00 販売開始

後援: OBS大分放送・大分合同新聞社

主催

(財)大分県文化スポーツ振興財団
TEL.097-533-4004

iichiko総合文化センター

検索

伝統の重み・新風の薫り

井手口 彰典 (音楽社会学)

かつて「レニングラード」と呼ばれていた美しい街が、「サンクトペテルブルグ」へとその名前を変えて今年でちょうど20年となる。新生児が一人前の大人へと成長するこの20年という歳月は、サンクトペテルブルグの街にも、またその名を冠するオーケストラにも、劇的な変化をもたらした。

その最大の要因がソヴィエト崩壊とそれに伴う政治・経済の大転換にあることは、ここで改めて指摘するまでもないだろう。だがもう一つ、とりわけサンクトペテルブルグ・フィルにとって極めて重要な契機となったのは、その名の切り替わりに3年ほど先立つ、正指揮者ムラヴィンスキーの死であった。

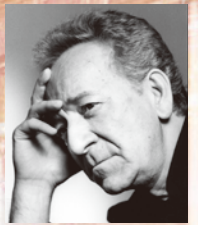
1938年から88年まで、実に50年間という長きに渡り当時のレニングラード・フィルに君臨したムラヴィンスキーは、同オーケストラを世界屈指の機能美を備えた演奏集団へと成長させた。私の個人談になってしまい恐縮だが、今でも忘れられないのは両者によるチャイコフスキーの第四交響曲をレコードで聴いた時の衝撃だ。フィナーレの猛烈なスピードにもかかわらず、一切の乱れを見せない超人的演奏。それは感動と言うよりもむしろ畏怖に近い、戦慄的な体験であった。

そんな来歴を持つオーケストラが、ムラヴィンスキーの跡を継いで同団の首席指揮者となったテミルカーノフと共に、今秋いよいよグランシアタのステージに登場する。この新しい巨匠と共に過ごした20余年の歳月が、オーケストラのサウンドをどのような新境地へと導いたのか。今から興味は尽きない。

プログラムでは、先に挙げたチャイコフスキーの第四番に加え、ラフマニノフの第二番が取り上げられる。チャイコフスキーの交響曲のなかでは比較的ドライな性格を持つ第四番。他方、ラフマニノフの第二番は濃密なロマンティズムに満ちている。対照的でありながら共にロシア音楽としての魅力に溢れたこれら二曲を、一晚の演奏会で堪能できるというのだから実に贅沢な話だ。当然、出演者にはそれだけ高い身体的・精神的な負荷が掛かってくるわけだが、21世紀のロシア楽壇を牽引するテミルカーノフ／サンクトペテルブルグ・フィルのこと、きっと十分な満足約束してくれるに違いない。

ユーリー・テミルカーノフ (芸術監督・首席指揮者)

Yuri Temirkanov, Artistic Director and Chief Conductor



1938年コーカサス生まれ。レニングラード音楽院指揮科でイリヤ・ムシンに師事。1966年第2回全ソ指揮者コンクールで優勝。1967年ムラヴィンスキーに認められ、アシスタント指揮者として招かれる。1968年からレニングラード交響楽団(現サンクトペテルブルグ交響楽団)の首席指揮者・音楽監督、1976年から1988年にかけてキーロフ・オペラ(現マリインスキー・オペラ)の芸術監督及び首席指揮者を務めた。

1978年にはロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団を指揮してロンドン・デビュー。1992年より1998年まで同楽団の首席指揮者を勤め、1998年には名誉指揮者の称号が与えられている。1988年4月、ムラヴィンスキーの逝去後、楽団員の選挙によってサンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団(旧レニングラード・フィル)の音楽監督・首席指揮者に選出され、以来23年間同楽団と密接な関係を築き、2005年にはロシアのオーケストラとして初めてNYカーネギーホールでの演奏を行っている。

この間、1992~97年にはドクステン・フィルハーモニー管弦楽団の客演常任指揮者を務め、1998/99シーズンからコペンハーゲンのデンマーク王立管弦楽団の首席客演指揮者に就任。また2000年から2006年までアメリカのボルトミア交響楽団の首席指揮者・音楽監督も務めている。

また、1996年にはローマでの国連50周年記念ガラ公演を指揮するなど欧米で高い評価と人気を誇り、2002年、2008年にはイタリア評論家協会よりプレミオ・アツピアティ賞を受賞。同賞を2度受賞した唯一のロシア人指揮者となる。この快挙により、2013年ヴェルディ生誕200周年記念フェスティバルまでバルマ王立劇場の音楽監督に就任。

ロシア人民芸術家、勲一等勲章を始めとする数々の栄誉に輝き、サンタ・チチリア音楽院名誉アカデミー会員、サンクトペテルブルグ音楽院名誉博士、2009年にはサンクトペテルブルグ名誉市民の称号を授かっている。

サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団

St. Petersburg Philharmonic Orchestra

1882年皇帝アレクサンドル3世の勅令により設立された、芸術の国ロシア最古の交響楽団。鉄の壁と連邦の時代においてもクレメンペラー、ワルター、ワインガルトナー、ニキシュなどの著名指揮者が客演し、ホロヴィッツやプロコフィエフがソリストとして共演。R.シュトラウス、マーラー、ブルックナーなど数々の重要作品のソ連初演を行っている。ベートーヴェンの傑作「土蔵ミサ曲(ミサ・ソレムニス)」の世界初演を行ったのも同楽団である(1824年サンクトペテルブルグ)。

古くは1802年に設立された「フィルハーモニー協会」を前身とし、20世紀初頭までは主に貴族階級のための楽団であった。1917年、2月革命の後、国立フィルハーモニー管弦楽団と改称されてクーセヴィツキーが初代指揮者に迎えられた。サンクトペテルブルグからペトログラード、そしてレニングラードからまたサンクトペテルブルグへとこの都市名の変換に伴い、1991年には長年親しまれた「レニングラード・フィル」という名称より「サンクトペテルブルグ・フィル」と改名され、現在に至っている。

1938年にエフゲニー・ムラヴィンスキーが音楽監督に就任し、約50年間に渡ってその座に留まる。その厳しい統率の下でソリスト集団が繰り広げた一糸乱れぬ演奏は、西欧諸国に大きな衝撃を与え、ムラヴィンスキーとレニングラード・フィルの名前は全世界に轟き渡る。サンクトペテルブルグ・フィルは海外でツアーを行った最初のソ連のオーケストラであり、第2次大戦後は、ヨーロッパ、アジア、アメリカほか全世界へツアーを行い、ストコフスキー、ミュンシュ、クリュイタンス、マルケヴィッチ、クリップス、コダーイ、プリテンなども指揮台に迎えている。ルツェルン、ザルツブルク、ラインガウ、エティンバラ、BBCプロムスといった主要音楽祭へも定期的に出演。1988年ムラヴィンスキーが死去した後、団員の投票により、ユーリー・テミルカーノフが同楽団の音楽監督に就任。11年に及びキーロフ・オペラ芸術監督時代に演出も手がけたテミルカーノフの造詣の深さと芸術性により、サンクトペテルブルグ・フィルは今第2の黄金時代を迎えている。

同楽団のレパートリーの中でショスタコーヴィチの作品は特別な位置を占め、同作曲家が世界に認められるきっかけとなった交響曲第1番を含む数多くの作品の初演を行い、1975年、作曲家の死とともに「ドミトリー・ショスタコーヴィチ記念」を名称に冠するようになった。



NHK交響楽団 大分公演

NHK SYMPHONY ORCHESTRA
TOKYO

とき 2012年 3月3日(土) 14:15開場
15:00開演

ところ *iichika* 総合文化センター
iichika グランシアタ

出演 指揮:尾高 忠明 (NHK交響楽団正指揮者)
ピアノ:小曾根 真

曲目 ラフマニノフ:パガニーニの主題による狂詩曲 作品43
ラフマニノフ:交響曲第2番ホ短調 作品27

チケット 2011年12月3日(土) 10:00販売開始
GS:6,000円/S:5,000円/A:4,500円/B:4,000円/学生:半額(S~Bのみ)

主催 財団法人 大分県文化スポーツ振興財団
大分市高砂町2-33 ☎097-533-4004 <http://www.emo.or.jp>

iichika グランシアタ ジュニアオーケストラ 第3回定期演奏会

とき 2012年 3月31日(土) 13:15開場
14:00開演

ところ *iichika* 総合文化センター
iichika グランシアタ

指揮 山下 一史 (仙台フィルハーモニー管弦楽団正指揮者)

曲目 シベリウス:交響詩「フィンランディア」
モーツァルト:交響曲第39番変ホ長調
チャイコフスキー:バレエ音楽「白鳥の湖」より

主催 財団法人 大分県文化スポーツ振興財団
大分市高砂町2-33 ☎097-533-4004 <http://www.emo.or.jp>

【お願い】

- 演奏中および楽章間の客席への入退場は制限させていただきます。●やむを得ない事情により、出演者・演奏曲目・曲順などが変更されることがあります。
- ご予約後の変更およびキャンセルはお受けできません。●公演中止の場合を除き、一度購入されたチケットの払い戻しはできかねますのでご了承ください。
- 未就学児童の同伴はご遠慮ください。託児サービスをご利用ください。(要予約:満1歳以上の未就学児対象。有料2,100円/お一人様。11月8日(月)17時までにお申込みください。)
- 車椅子席のご予約は(財)大分県文化スポーツ振興財団へお電話でお申し込みください。